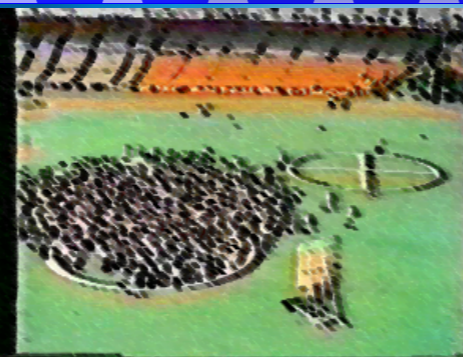


# 史上最大！第2回 アメリカ横断ウルトラクイズ



1978年11月 参加者 視聴率  
9/16/23日放送 700人 23.9%

## 第1次予選 後樂園球場



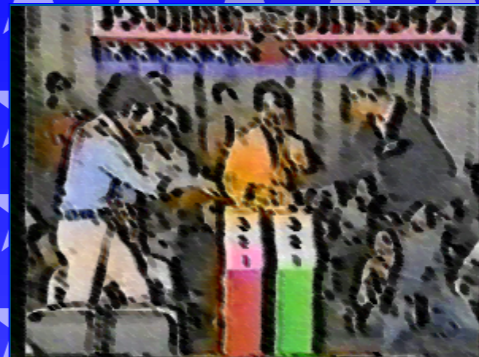
700 → 100

○×クイズ

敗者復活  
なし

グラウンド内の○×走りクイズ。群衆心理が働いてしまい序盤は同じ答えに集中する事態となる。以後、自分の意思で答えを決定しなければならない「ボールルール」が考え出される。

## 第2次予選 成田空港



100 → 50

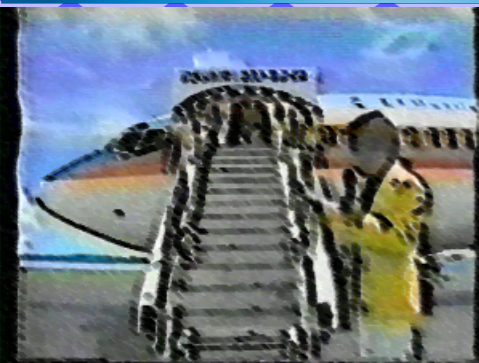
ジャンケン

敗者復活  
なし

3勝でサイパン行き決定。既に挑戦者はジャンケンであることを覚悟していた。敗者の住職「私は我を見放したか」。

## サイパンへ

第1チェックポイント



50 → 40

500問  
ペーパークイズ

機内  
1位 北川宣浩

500問に問題数が減る。この大会から採点結果を飛行機のタラップで発表する「フーバーゲート」がお目見えした。

## サイパン

第2チェックポイント



40 → 20

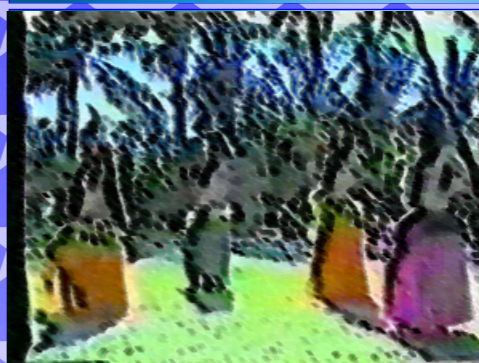
○×クイズ

罰ゲーム  
沖の船まで移動

札挙げ○×。失格者が20人以上出た時点でクイズ終了。敗者復活戦は空港前での「カルタ取りクイズ」が実施された。

## ルコイ

第3チェックポイント



20 → 10

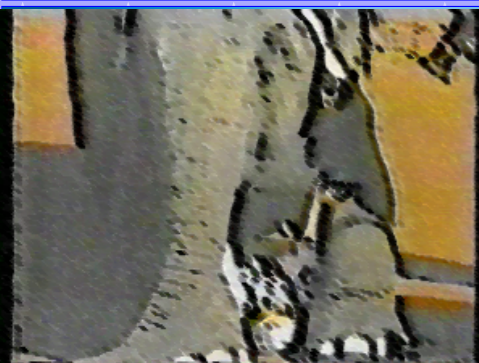
記憶カクイズ

罰ゲーム  
ベディキャブを空港まで漕ぐ

3ポイント勝ち抜け。ハワイアンショーを一定時間鑑賞した後、出題されるクイズに筆記で答える。

## サンフランシスコ

第4チェックポイント



10 → 9

インスピレーションクイズ

罰ゲーム  
象の下敷き寸前

3択インスピレーション。5ポイント勝ち抜け。カエルをジャンプさせる名人、毒グモを食べる男などびっくり人間大集合。

## レイクタホ

第5チェックポイント



9 → 8

リレクイズ

罰ゲーム  
レストランでパイ投げ  
どろきりの被害にあう

1ポイント勝ち抜け。回答順は湖の水温を足で測る近似値クイズで決定。

## リノ

第6チェックポイント



8 → 7

ギャンブルクイズ

罰ゲーム  
スキー靴をはいて帰国

1問正解につき、ラッキーフォーチュンというルーレットを回す。合計6ドル獲得で勝ち抜け。お手つき誤答マイナス1ドル。

## デンバー

第7チェックポイント



7 → 6

酸素欠乏クイズ

罰ゲーム  
なし  
(寒さで動けなくなったため?)

3ポイント勝ち抜け。正解するとクイズジャンルを選べる。お手つき誤答は服一枚脱ぐ。敗者となった女性はクイズ終了時Tシャツだけであった。その後スタッフに担ぎ込まれる事態に。

## シカゴ

第8チェックポイント



6 → 5

国際電話  
連想クイズ

罰ゲーム  
ファイナルウェーブ(ジェット  
コースター)に乗る。

国際電話を使い、挑戦者の家族へ挑戦者が連想クイズを出題。1分30秒での正解数を競う。

## ナイアガラ

第9チェックポイント



5 → 4

早押しクイズ

罰ゲーム  
ナイアガラの滝の真下でカッパ  
を着せられずに見学

5ポイント勝ち抜け。お手つき誤答はマイナスポイント。第2回大会の中では最もベーシックな形式で実力差が明確に。

## ボストン

第10チェックポイント



4 → 2

熱気球  
ダウンアップクイズ

罰ゲーム  
そのまま飛んでいく

熱気球に乗っての○×クイズ。空中1.2m地点から開始。正解につき、4m降下。不正解は4m上昇。2.4m以上上昇で失格。

## ニューヨーク

決勝ポイント



2 → 優勝

早押しクイズ

ウィニングアンサー  
バイオリン

優勝後、司会者と優勝者は相撲を取り、そのまま寝転びインタビュー。最終結果 +10:0

## ニューヨーク

賞品地



超高級ホテル宿泊  
(家族と一緒に)

決勝戦時、成田空港に2家族が待機。優勝決定後即ニューヨークへ招待した。ホテルは「エセックスハウス」